



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」
(以下、「推進員」)さん。現在、市内全小中学校に1〜2
名が配置されています。その推進員さんに聞きました。

1. 配置校はどこですか？
筑紫小学校です。



田河内 美智さん

2. 推進員になったきっかけは？

ボランティア活動などで学校と関わっていたつながりからお話をいただき、お受けしました。

3. 主にどんな活動(具体的に)を
していますか？

地域・家庭・学校をつなぐ取り組みに向けて、読み聞かせ、交通ボランティア、ポッチャ大会、防災研修などのお手伝いをしています。



▲読み聞かせ活動をしている様子

4. 活動してみてもうれしかったこと
は？

子どもたちが声を掛けてくれるのが一番うれしいです。

また地域の方や先生方とお話をする機会が増えたこともうれしいです。

5. 活動してみてもよかったことは？
まだまだ、地域・家庭・学校が一緒に活動が少ないと感じています。なので、その間をつなぐ推進員のことを知ってもらい、一緒に活動してもらいたいと思います。

6. 将来、やってみたい活動は？

「コロナ禍前に行っていた、地域の方たちとの昔遊びや、中学生ボランティアと一緒に活動する企画も考え実施したいです。」

7. 地域・学校の声

推進員が配置されたことで、学校は地域の人たちと目標やビジョンを共有し、地域と一体になって子どもを育むことがよりいっそう推進されるようになるでしょう。

推進員は学校を知り、地域を知り、学校と地域を結ぶなど、求めるものは多く、その期待も大きいものがあります。

地域は推進員の配置を機に、自立した地域社会の基礎を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、子どもも大人も学び合い、地域の将来を担う人材を育成していかなければならないと強く思っているところです。

(桜台公民館長 稲住和夫さん)